

国際NGO セーブ・ザ・チルドレン “母の日レポート”
がんばれ、ニッポンのおかあさん!!
母親になるのにベストな国ランキング、日本は 28 位
子ども指数では、世界ランキング 2 位に

公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

子ども支援の国際 NGO セーブ・ザ・チルドレンは、母の日を機に母親に注目することで、子どもについて考えるきっかけを作るため、毎年「State of the World's Mothers」を発表し、“母親になるのにベストな国ランキング”（母親指標 Mother's Index）を公表しています。第 12 回目となる今年は、世界 164 カ国を対象に母親と子どもの状態を分析しました。

【2011 年母親になるのに最も適した国(母親指標*1)】

今年のトップは昨年同様ノルウェー、最下位も変わらずアフガニスタンでした。日本は、昨年の 32 位より 28 位に順位が上がり、2007 年以来やっと先進国中 30 位以内にランクインしました。(2005 年 14 位、2006 年 12 位、2007 年 29 位、2008 年 31 位、2009 年 34 位)



	トップ 10 の国		ワースト 10 の国
1	ノルウェー	155	中央アフリカ共和国
2	オーストラリア	156	スーダン
2	アイスランド	157	マリ
4	スウェーデン	158	エリトリア
5	デンマーク	159	コンゴ民主共和国
6	ニュージーランド	160	チャド
7	フィンランド	161	イエメン
8	ベルギー	162	ギニアビサウ共和国
9	オランダ	163	ニジェール
10	フランス	164	アフガニスタン

母親指標は、女性指標と子ども指標のそれぞれのデータをもとに総合ランキングが出されます。女性指標と子ども指標の上位ランキングは下記の通りです。

*それぞれの指標は別頁ご参照ください。

	女性指標*2		子ども指標*3
1	オーストラリア	1	スウェーデン
2	ノルウェー	2	日本
3	ニュージーランド	2	イタリア
4	デンマーク	4	ドイツ
5	アイスランド	5	オーストリア
34	日本	6	フランス

今年 3 月 11 日、未曾有の大震災に見舞われ、未だに被災地では多くの人々が不自由な避難生活を余儀なくされています。

そのような状況下でも、お母さんたちは気丈に子どもを育てています。避難所で出会った小さなお子さんを持つお母さんは言います。「家も仕事もすべて失い、無収入での避難所生活、先が見えなくて本当に不安です。避難所でもらう子どもの服はいつも少し大きめのものを選んであげています。」また、避難所での子育ての不安について尋ねると「環境です。まわりの人が子どもの気持ちを感じ取り、子どもたちが安心して遊べる場所が必要です。」それでも、子どもたちへの将来には「こうした経験をしたからこそ、人のために生きることのできる大人になってほしい。そのための教育も受けさせてあげたい」と期待を語ってくださいました。

今年、日本の母親ランキングを飛躍させた要因には、子ども指数が第 2 位に浮上したことが大きく

寄与しています(昨年は6位)。子ども指数の中でも、日本における5歳未満の死亡率は世界で最も低く、また中等教育の進学率が高いことも注目されます。このことは日本の医療と子どもの教育環境水準が世界に誇れると同時に、今後、こうした子どもが育つ環境に加え、女性が安心して子どもを育てられる環境が日本でもさらに整っていくことが期待されます。

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンは、被災地の避難所を中心に子どもたちが安心・安全に遊べるスペース「こどもひろば」を展開してきました。これまでの緊急支援時には、子どもたちはのびのびと同世代の子どもたちと遊ぶことで日常を取り戻し、また、大人たちは安心して生計再建の時間を作り出すことができるなど、避難所での需要が多くありました。今後、学校が再開され、避難所も縮小されていく復興支援期において、「こどもひろば」は形や場所を変えて、母子の健全な子育てを支援できるよう展開を続けていきます。

*1「母親指標((Mothers' Index)」

- ① 産婦死亡のリスク
- ② 現代的避妊手法の使用率
- ③ 訓練を受けた医療従事者の立会いの元での出産
- ④ 女性の平均余命
- ⑤ 女性の正規教育期間
- ⑥ 男女間の給与所得の比率
- ⑦ 産休・育休制度
- ⑧ 女性の国政レベルでの政治への参加
- ⑨ 5歳未満の子どもの死亡率
- ⑩ 5歳未満の子どもの栄養不良児率
- ⑪ 就学前教育就学率
- ⑫ 初等教育就学率
- ⑬ 初等教育就学の男女比
- ⑭ 中等教育就学率
- ⑮ 安全な水の利用率

*2「女性指標(Women's Index)」

主に上記指標の①～⑧を中心に比較しています。

*3「子ども指標(Children's Index)」

主に上記指標の⑨～⑮を中心に比較しています。

セーブ・ザ・チルドレンは、1919年に英国で設立された子ども支援の国際NGO。現在、世界で29のそれぞれ独立した組織がパートナーを組み、世界最大のネットワークで約120カ国で活動を展開しています。「子どもの権利」の実現される世界を目指して、教育支援、母子保健など、子どもとその家族の支援活動を展開するほか、自然災害や紛争などによる緊急支援も国際的にその実績が認められています。